

4月21日
取次搬入予定

『東京の編集者 山高登さんに話を聞く』

内田百閒、志賀直哉、谷内六郎、香月泰男、新潮社。

戦後間もないころに新潮社に入社し、内田百閒、尾崎一雄、上林暁、島村利正といった渋い作家たちの作品を美しい造本に仕上げた編集者・山高登(やまたか・のぼる)。弊社は2010年に『昔日の客』という本を出しましたが、その本のオリジナルをつくったのもまた山高さんでした。戦争から生還し、美しいものを求めて本をつくり、写真を撮り、のちには版画家として名を成した山高登さんが語る古き良き昭和。今年91歳になる山高さんにロングインタビューをし、美しい本作りの背景を探りました。上記の作家のほかに、土門拳、武井武雄、小沼丹、宇野千代なども登場します。木村伊兵衛のような本格的モノクロ写真を多数収録するほかに(カバー写真も山高さんの手によるものです)、カラーで新潮社時代の書影(8点)、蔵書票(同じく8点)も収録しております。昭和が瑞々しく蘇ってくる、美しく楽しい一冊です。

価格：2300+税/148頁(A5版変形/ハードカバー)

ISBN 978-4-904816-24-0 C0095

取次：JRC(すべての取次からの搬入が可能です)

ご注文は JRCへ FAX：03-3294-2177

電話：03-5283-2230

発行 株式会社 夏葉社 TEL/FAX 0422-20-0480 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-5-10-106

東京の編集者

山高登 著

発行 夏葉社 ISBN 978-4-904816-24-0 C0095 本体1300円+税

ご担当者様

冊

貴店番線印

